

家の中を走り回るネズミ！



夜、自宅内で天井裏を走る足音がしたり、カボチャの種や豆などが、カゴ、リュック、衣服のポケット、靴、洗濯機、こたつの中などあらゆる場所から出てきたりするため、センサーカメラを設置してみたところ、ネズミが撮影されました。

通常は野山で生活しているネズミですが、紛れ込んだ部屋の中は、暖かくて餌もたくさんあり、きっと居心地がよかったです。

このネズミはヒメネズミ (*Apodemus argenteus* げっしもく 齧歯目ネズミ科) かアカネズミ (*A. speciosus* げっしもく 齧歯目ネズミ科) と考えられます。

この両種は、日本固有種で低地から高山帯までの山林に生息していて、夜行性です。外見はよく似ています。主な違いはヒメネズミの方が小型で体長に比べて尾が長く、アカネズミの方が赤味が強い点です。山林で生息しているネズミが家の中に紛れこむのも、周囲を山に囲まれた只見町ならではのことでないでしょうか。

ヒメネズミもアカネズミもエサは昆虫やドングリなどの種子です。秋にはエサがなくなる冬に備えて種子を地中に埋めて貯蔵する貯食行動をとります。家の中に隠されていた種子もこの行動であると思われます。あちらこちらに埋めているため、時には埋めた場所を忘れてしまうこともあるようです。その種子が春になり発芽する可能性もあり、ネズミが運ぶことで種子の散布にも一役かっていると考えられています。

企画展示

「季節とともに生きる－只見の野鳥とその生態－」

期 間：1月17日(土)～4月19日(日)の期間で開催

ブナセンター講座

「森をつくる鳥たち－鳥と果実の共進化－」

日 時：3月7日(土) 13:30～15:00

講師：上田 恵介 氏(立教大学理学部生命理学科教授)

自然観察会

「上田先生と歩く！冬のブナ林」

日 時：3月8日(日) 10:00～12:00

冬のブナ林には、どんな鳥が生息しているのでしょうか？野鳥の観察も行います！

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください